

大学 ソリューション

広大なキャンパスに非常・業務用放送設備を導入したい

お客様の課題

- ☑ 多棟や広域エリアをカバーしたい
- ☑ 緊急地震速報と連動したい、移動しながらでも放送したい
- ☑ 電力消費を抑えたい

JVCのご提案

非常・業務用放送設備「EM-1500」シリーズ、
IPオーディオユニット「PN-AP150」をご提案いたします

PN-AP150



EM-1500 シリーズ



講義棟、実験棟、ホール、図書館など広い敷地内の施設や多層階施設に対応します。

多元、多棟の大規模・複雑な業務放送に対応デジタルマトリックスユニットによる多元放送、多棟対応ユニットによる多棟放送に対応でき、組み合わせによる大規模で複雑な業務放送も可能です。さらに、IPオーディオユニットによるシステム構築も可能で、ネットワーク環境による敷設や遠隔地対応などの優位性を発揮できます。

改正消防法に適用した緊急地震速報に対応し、無線機との連動も可能です。

緊急地震速報 JEITAガイドライン対応、トランシーバー連携

非常放送の放送中でも地震速報を放送したり、停電中でも非常用バッテリーを使用して地震速報メッセージを優先して放送できます。また、トランシーバーとの連動で、現場や避難、誘導しながらの放送に対応します。さらに、非常および緊急時に、無線端末にアラート音+メッセージの送信も可能です。

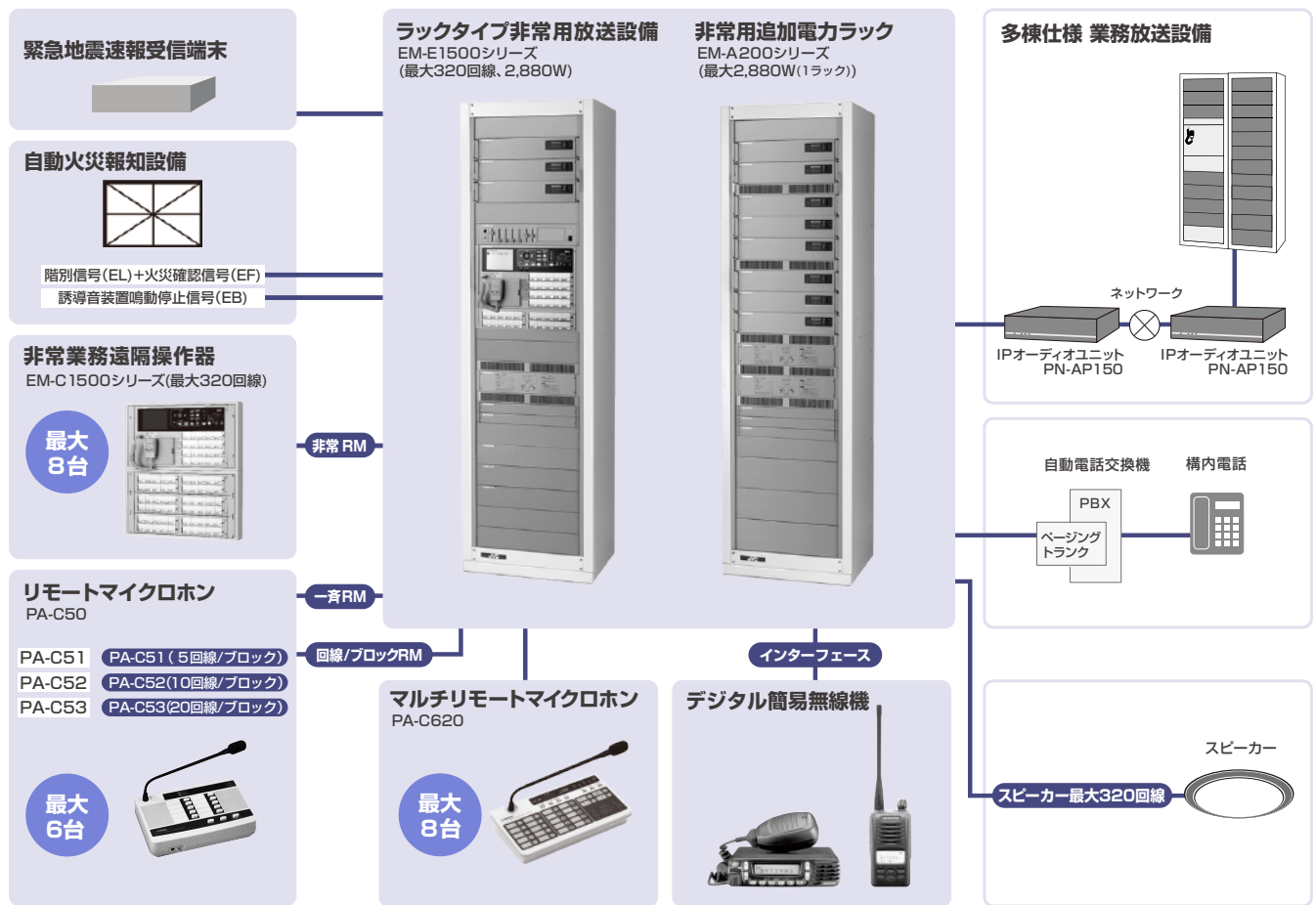
消費電力の大幅低減を実現した放送設備です。

高効率デジタルパワーアンプ EM-A842D/EM-A822Dの採用

定格出力の1/8W(10W)^{※1}時の消費電力が、アナログパワーアンプに比べて60%以上^{※2}低減。非常電源(バッテリー)容量も約40%削減します。環境に配慮し、ランニングコストを大幅に節約できる業務放送を実現します。

※1：世界標準規格 IEC60065 に準拠した通常稼働状態 (BGMなどを歪みなく常時放送できる出力レベル)。
※2：当社アナログパワーアンプ EM-A083 との比較。

■ 提案システム



■ その他の特長

- ・ 320 回線対応
地震速報の優先放送対応機で、大型施設にも対応可能。
- ・ 業務停電放送を標準品で対応
電源切替ユニットの使用で停電時でもアナウンス放送や地震速報のカウントダウン放送が可能です。
- ・ 業務メッセージ内蔵
あらかじめ20種類を内蔵。最大45種類まで登録可能。
- ・ 入カソース優先順位 23段階
- ・ 操作練習モードを搭載
- ・ 「一斉マイナス1」と「一斉はずし」機能
- ・ 動作点検機能の強化
- ・ 緊急放送のローカル放送遮断

「PN-AP150」

- ・ 高品質な音声や音楽、制御信号を LAN/WAN を介してリアルタイムに遠隔地に伝送可能
- ・ 広域・多地点・多元・通話・高音質を実現し、本部と支部間の遠隔地通話など用途に応じた4つのモードに対応

●仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。●記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本システムについてのお問い合わせは

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム
<http://jkpi.jvckenwood.com/>

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
 営業本部 営業企画部 プロオーディオグループ
 ☎045(443)3064
 営業本部 営業企画部
 ☎045(443)3107